令和５年度　第１回宅老所ふらっと運営推進会議録

日　時　　令和５年８月２９日（火）１０：００～１１：００
場　所　　朝来地域センター（朝来市老人福祉保健センター）、
参集者　　浅田、山田覚、山田京、三浦、山口（市職員）、藤本施設長
　　加門（欠席）

1. 開会
2. あいさつ
　藤本自己紹介
　・一人一人をよく見て望んでおられることを探っていくことから始め、楽しく通い続けることが出来る施設を目指し職員一同工夫しています。
　これからも利用者、家族共に安心して本音が言える施設を目指します

　「まだ見ぬ介護者へ」詩、朗読。
　認知症を患っておられる方、障害のある方、みんなで支えあい、思いあえる地域を目指したい。

3. 参加者順次自己紹介

4. ふらっと現状紹介
　・宅老所ふらっとパンフレットを見て頂きながら説明。
　・利用者について・・介護度別、地域別、曜日別利用者数表
　　入院４名、自宅待機２名あり（９月より入院２名復帰）
　・職員について・・職員５名の内、４月から４名異動でふらっと勤務
　・今年度より始めた午後からの歩行訓練としてのスタンプラリー説明。
　スタンプラリー１枚終了すると記念に利用者に持って帰っていただく
　利用者、職員合作の色違い金魚ストラップを選んでいただいた。

5. 意見交換
　運営推進委員からの質問・意見
　・利用に繋げるのが難しい男性利用者をどうして利用してもらえているのか。
　→拒否のある方は、無理強いはせずに３時間から初めて、履歴の確認から始め興味のあることから探っていく。

焦らず徐々に時間数を増やし、現在週２日の利用に繋げていった。

・今回の説明で施設の内容、状況が分かりやすかった。
→職員が同じ方向を向いて団結することは正直言って難しいですが、お互いを認め合いながら少しずつ進めて行っています。

・重度の方もおられるが、ふらっとは一般浴槽となっている為、入浴介助など今後スムーズで安全な装置など考えておられないのか。
→装置購入、設置などとなると予算面でも考えていかなくてはならず、本部とも相談させて頂きます。

・重度化すると入所などで他施設に変わられる現状をどう考えておられるのか。
→利用拒否のある方がやっと楽しんで利用されるようになる所から始まり、時を経て施設入所になるのがデイサービスの現状だと思います。
重度になられても長く利用して頂きたい。最期までの思いはありますが、それには、専門知識と覚悟と職員の団結が必要だと思います。だからこそ、今は一瞬一瞬を大切に楽しんでいただこうという思いでもあります。

・入院４名で利用者減となっているが、退院されるまで待つといった馴染み関係も大切であるが、退院後は、今までの生活が難しくなり、入所する人も多いのではないか？
→施設の運営を維持して行けなくなることは、本末転倒であると思います。
課題として考えていきます。

6. 閉会

今回、貴重なご意見をいただき、実のある会議にして頂きました。
施設に持ち帰り職員とも話し合い、ふらっとの成長に繋げていきます。

次回運営推進会議は、令和６年２月を予定しております。
ぜひとも、ご出席くださいますようお願い申し上げます。